

# Julabo Case Study

## JULABO PRESTO® A40

10リットル反応容器を  
+200℃から-25℃に冷却。



### 目的：

このケーススタディでは10リットルのガラスリアクターでJULABO PRESTO A40の冷却能力のテストを実施。A40は片道2mのメタルチューブでリアクターに接続されています。+200℃から-25℃にクールダウンするようにプログラムされています。

### 試験条件：

使用機器	ユラボ社製 Presto A40
冷却能力	+20 °C 1.2 kW
	0 °C 0.9 kW
	-20 °C 0.6 kW
加熱能力	2.7 kW
バンドリミット	No
ポンプ圧	0.40 bar
循環液	ユラボ社製 サーマルHL40
反応容器	10 L ガラス反応容器 (Normag) 容器内にはユラボ社製 サーマルHL40を充填
温度制御	外部制御 (ICC)

### 環境：

室温	+20 °C
湿度	45 %
電源	230 V / 50 Hz



### 試験結果：

次ページのグラフを参照してください。：A40の冷却プログラムでは、+200℃から-25℃へ3時間10分でオーバーシュート無しで実施。

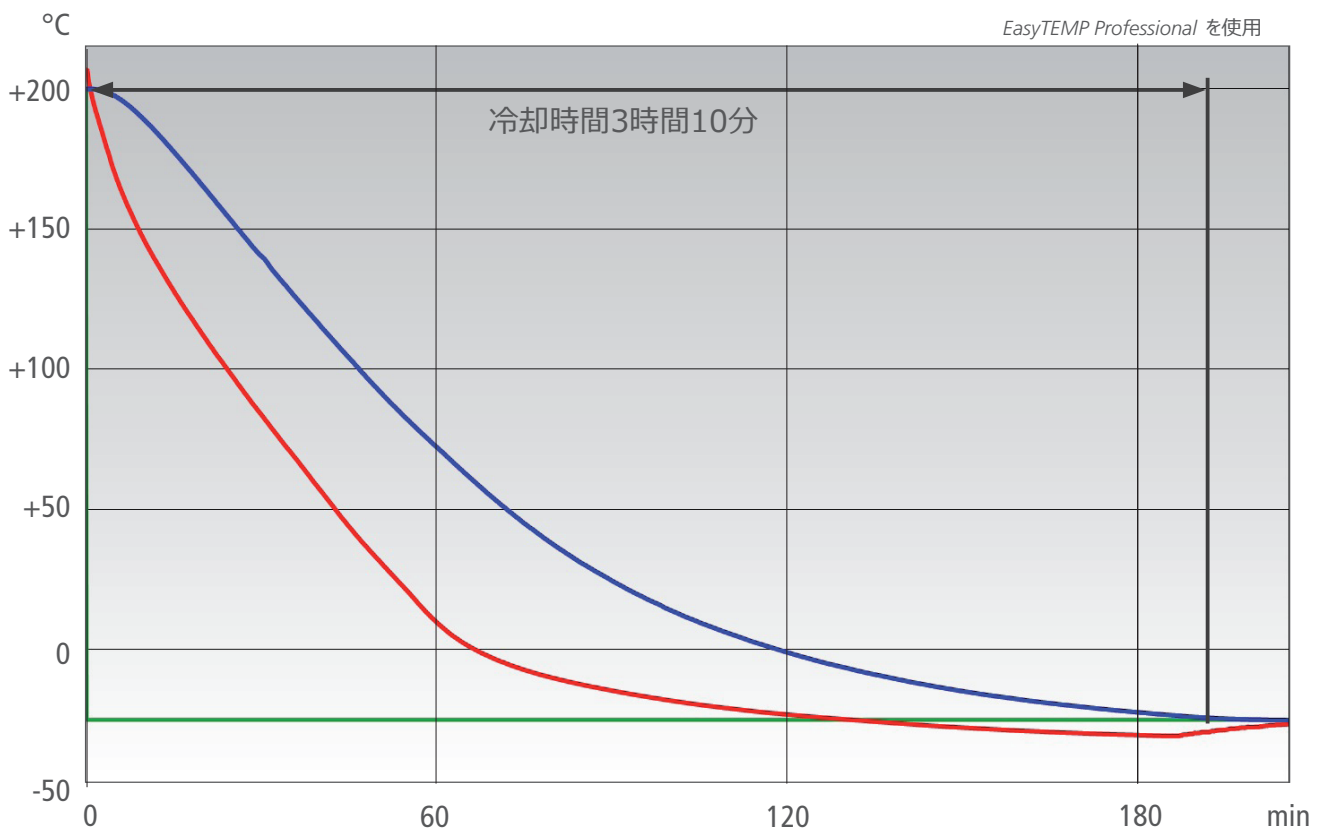
### その他機能

テフロンコーティングのPt100センサーを使用しています。

次ページにも  
情報があります>>



JULABO GmbH  
Eisenbahnstraße 45  
77960 Seelbach / Germany  
Tel. +49 (0) 7823 51-0



- 設定温度
- ガラス反応容器内温度
- ガラス反応容器ジャケット内温度

**その他機能**  
 ポンプ吐出圧調整  
 機能を搭載  
 PRESTO® では  
 希望のポンプ吐出  
 圧数値を設定する  
 事が可能です。

**その他機能**  
 イーサネットインター  
 フェースでは、  
 PRESTO® の全機能  
 へのアクセスが可能  
 です。

JULABO GmbH  
 Eisenbahnstraße 45  
 77960 Seelbach / Germany  
 Tel. +49 (0) 7823 51-0